

# ここが問題！リニア新幹線 2013. 11. 23

リニア新幹線NEWS No. 14

リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会発行

HP : [web-asao.jp/hp/linear](http://web-asao.jp/hp/linear)

## 総数3万件超か！沿線7都県の切実な意見書を自治体の環境影響評価審議会に反映させよう！

～ 東京・神奈川連絡会は神奈川県、川崎市のアセス審議について申し入れ～



(JR東海の環境調査。目的のところがガムテープで隠す)

(川崎市内は大規模工事が目白押し～写真は武蔵小杉駅前)

11月5日、JR東海のリニア新幹線環境影響評価準備書に対する意見書の募集が締め切られた。JR東海によれば、11月13日段階で2500人、1万4千件の意見が寄せられたが、自治体に寄せられた意見書の数はこれを上回ると思われる。私たち東京・神奈川連絡会は11月14日、神奈川県と川崎市に申し入れを行ったが、その際、川崎市の環境評価室は市宛の意見書はいま整理中と答えている。7都県の自治体あての意見書を上乘せすると、総数は3万件を超えると推測される。意見書は項目ごとにJR東海が整理し、自らの意見を添えた見解書として自治体の首長に送られる。これをもとに、各自治体では環境影響評価審議会を開き、県の同機関は首長への答申をまとめ、見解書受領から120日以内に首長意見を出すことになる。見解書はおよそ2週間、県庁や市役所、区役所で縦覧に付せられる。

### 地上も地下も、ようやく「公害の街」から回復してきた川崎を傷つけるな！

およそ2年にわたるJR東海の環境影響調査はあまりにも簡単で、ほとんどの調査対象項目で「適切な環境保全措置を講じれば、環境への影響は極めて少ないか、無い」と予測し、工事を行っても問題ないと評価している。川崎市内では武蔵小杉駅周辺の再開発事業、武蔵中原駅前の富士通の整備事業、隣接して立坑が出来ると等々緑地再編整備事業、そして麻生区でも尻手黒川線沿線で病院や介護施設建設事業など、大規模工事が目白押しだ。これらが重なれば、工事による騒音・振動、大気汚染など、市民はとてつもない生活環境への悪影響を被ることになる。

# リニア新幹線公聴会は来年1月中旬

リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会は11月14日午前10時から、神奈川県環境農政局環境部環境計画課に対し、JR東海の環境影響評価準備書に関する環境影響評価審査会で、市民意見を重く見て、全項目について熟議を行うこと、また、実現性の無い想定のもとにリニアの経済効果を謳って県民を惑わす「リニア新幹線建設促進県期成同盟会」の解散などを求める黒岩知事あての5項目の申し入れ書を手交した。およそ1時間45分にわたる質疑で以下の点が明らかになった。県あての意見書の数については集計中という回答だった。

■公聴会は1月中旬以降、県内で複数回実施する。

連絡会として、このうち1回は相模原市で開催するよう求め、県からは「検討する」との回答。

■公聴会の公述人は10名を予定、時間は午前10時から15時とか、長時間を確保。公述人は事前募集。簡単な所見とともに申込み、人数が多ければ抽選。JR東海にも参加を呼び掛けるが、参加するかどうかはJR東海の判断。公聴会ではやり取りはできる。

■審査会は10月26日に開催されているが、当日の日中は相模原市内の中間駅・車両基地予定地を審査会委員が視察、現場でJR東海から説明を受けた。11月25日の第2回審査会も日中は、川崎市の工事予定地を視察、JR東海から説明を受ける。25日の審査会は午後6時から産業貿易会館で開催、傍聴席は25人分。多ければ現地で抽選となる。

連絡会として「JR東海の説明だけでは地域の実情は分からない。私たち住民が委員に現場で直接説明をしたほうが委員も理解しやすい。それが無理なら、事前に評価室と私たちが視察場所について調整協議したい」と申し入れた。これについて、前向きではない。

■パブコメで寄せられた意見をまとめ、それにJR東海の意見を添えた「見解書」が届いてから120日以内に準備書に対する知事意見を提出することになる。審査会の答申があってから知事意見を出すまでは早ければ1週間である。

■準備書の審査で再調査の必要があるとなれば、知事意見でそのことを指摘することになる。

■行政は縦割りになっている。期成同盟会は県土整備局の管轄であり、申し入れについては県土整備局にも渡しておく。

連絡会は「JR東海の山田社長はリニアが出来ても採算がとれないと明言しており、赤字になる事業が県に経済効果をもたらすというのは幻想だ。期成同盟会は解散すべきである。それに、同じ課題で一方は推進、一方は慎重。なぜ、双方が対等の話が出来ないシステムはおかしい」と指摘。

県への申し入れ行動には、相模原連絡会の中野渡旬事務局長が同行し、「車両基地周辺は自然豊かであり、工事により自然破壊になり、建設は中止せよ」、「橋本周辺の駅建設で地下水が影響を受ける。調査をやり直すべき」など3課題、合わせて12項目の知事あて申し入れ書を提出した。

## 川崎市宛の準備書市民意見は3千件台後半

つづいて、午後1時から、連絡会は川崎市役所第3庁舎にある環境局環境評価室を訪れ、19日に正式就任する福田紀彦新市長あて6項目の申し入れ書を提出した。ここもおよそ1時間15分

あまりのやり取りの中で、以下の点が明らかになった。

- 環境影響評価審議会はまだ開いていない。JR 東海からの「見解書」が届いてからになるが予定は立っていない。それから100日以内に市長意見をまとめる。県から指示が来てから審議会を開催することになる。
- 審議会委員（20名）には縦覧と同時に準備書（本体と資料）を自宅に送付してある。連絡会は、方法書の審議では数人の委員が意見を述べるだけで、多くの委員は発言せず、手続きだけで方法書を通してしまった。今回はその轍を踏まないよう、準備書について時間をかけてきちんと審議するよう申し入れた。
- 公聴会は県と同様1月中旬以降。開催回数、場所、時間等は未定。公述人は14人で事前募集。会場は大ホールではなく、大会議室（100人規模）程度の広さとなる。連絡会は少なくとも、中原・高津・宮前・麻生の各区で開催するよう求めた。
- 審議会委員による現地視察はある。これまでも審議会にかかる事業計画ではすべて視察している。これに対し、連絡会は視察の案内はJR 東海ではなく、関係住民がするのが実態に即した委員の理解が得られると申し入れた。また、梶ヶ谷の貨物ターミナルに立坑が出来ることが、すでに尻手黒川線の車両走行や貨物ターミナルの作業で周辺住民は苦しめられており、その付近の保育園などを視察して声を聞くべきではないか伝えた。
- 大気質について基準を超えているところがあることは承知している。また基準値を下回っているからいいということではなく、どれだけ下回るかが重要だ。連絡会は、「川崎市内では麻生区では病院や老人介護施設の新設、中原区では小杉再開発、富士通や等々力緑地の整備事業、高津区では橋清掃工場の取り壊しなど大規模工事が相次ぐ。これにリニアの工事が重なることで市民は大気汚染や騒音・振動などの影響が大きくなる。審議会では他の事業との関連についても審議し、リニア単独だけで判断しないでもらいたい」と申し入れた。
- 川崎市に寄せられた準備書に対する市民意見の数は確定していないが、3千台の後半だろうと推察している。

今回の申し入れは、意見書や説明会で、多くの市民が指摘したように、リニア新幹線事業はあまりにも問題点が多く、リニアは必要ないと考えていることを前提に、私たちは、計画の凍結・再検証を求めており、今回の準備書に至る環境影響調査も実態にそぐわない甘い予測、評価であり、やり直すべきという考えから行ったもの。

## 講演会

# エネルギー問題からリニアを考える

～リニア新幹線はどこから大量の電力を確保するのか！

物理学者 阿部修治さん

12月1日(日)13:30～16:00

場所： 和光大学ポプリホール鶴川

(小田急線鶴川駅下車3分)



阿部修治さん

(産業技術総合研究所首席評価役)

主催：リニア新幹線沿線住民ネットワーク

リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会、リニア・市民ネット

問合せ：042-565-7478(懸樋)

# リニア凍結めざす第一歩、まずは環境影響行政と地方議員へ注文から

## ～審議会、議会で、市民意見を尊重したリニア審議の徹底を求める～

### <川崎市環境影響評価審議会>

#### =学識経験者=(太字会長)

川本克也(国立環境研究所) 環境・廃棄物  
北林興二(元工学院大学) 大気環境  
坂上恭助(明治大学) 建築環境  
醍醐市朗(東京大学) 産業生態学  
武田庄平(東京農工大大学院) 動物行動学  
中村文彦(横浜国大大学院) 交通工学  
浜野周泰(東京農大) 都市緑化  
早野公敏(横浜国大大学院) 地盤工学  
村木美貴(千葉大学大学院) 都市計画  
持田幸良(横浜国大大学院) 植生生態学  
**柳憲一郎**(明大法科大学院) 環境法政策  
義江龍一郎(東京工芸大学) 建築環境工学  
吉村純一(小林理化学研究所) 騒音振動

#### =市民委員=

阿部輝美(川崎地域連合)  
太田史一(川崎市医師会)  
小野 保(公募)、中山育美(公募)  
重見憲明(川崎商工会議所)  
清水俊子(川崎市公害追放市民協議会)  
高瀬隆雄(川崎市全町内会連合会)

### <神奈川県環境影響評価審査会>

有本 誠(元・自然環境研究センター) 鳥類生態学  
上野佳奈子(明大理工学部) 音響工学  
岡村敏之(東洋大国際地域学部) 交通工学  
小野正人(玉川大学農学部) 昆虫行動生態学  
片谷教孝(桜美林大学) 大気科学  
清宮 理(早大理工学部) 社会基盤工学  
河野 忠(立正大地球環境科学部) 地下水学  
斎藤 馨(東大新領域創成科学研究所) 造園学  
中村幸人(東京農大地球環境科学部) 植生学  
藤倉まなみ(桜美林大リベラルアーツ学群) 廃棄物

本藤祐樹(横浜国大大学院環境情報研究院) エネルギー環境学

**益永茂樹**( ) 環境科学

丸山 隆(元東海大海洋科学部) 河川生態

三島万里(文化学園大現代文化学部)

企業コミュニケーション論

三宅淳巳(横浜国大環境情報研究院)

安全工学

宮沢廣幸(弁護士) 法律

室田昌子(東京都市大学環境学部)

都市計画

山本佳代子(電気通信大学情報システム学)

環境計画

(川崎市、神奈川県とも太字が会長)

### <川崎市議会環境委員会>

|      |          |     |
|------|----------|-----|
| 委員長  | 田村伸一郎(公) | 宮前区 |
| 副委員長 | 勝又光江(共)  | 麻生区 |
| 委員   | 猪股美恵(無)  | 高津区 |
|      | 原 典之(自)  | 中原区 |
|      | 為谷義隆(み)  | 川崎区 |
|      | 井口真美(共)  | 多摩区 |
|      | 山田益男(民)  | 幸 区 |
|      | 織田勝久(民)  | 宮前区 |
|      | 浅野文直(自)  | 宮前区 |
|      | 花輪孝一(公)  | 麻生区 |
|      | 坂本 茂(自)  | 川崎区 |

### ここが問題！リニア新幹線 News. 14

発行：

**リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会**

発行責任者：共同代表

天野捷一 044-866-5785

懸樋哲夫 042-565-7478